

## 映像作品における台詞終わりに付加する音楽の最適 付加時点

稲田, 環

<https://doi.org/10.15017/1807041>

---

出版情報：九州大学, 2016, 博士（芸術工学）, 課程博士  
バージョン：  
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名 : 稲田 環

論 文 名 : 映像作品における台詞終わりに付加する音楽の最適付加時点

区 分 : 課程博士 (甲)

## 論 文 内 容 の 要 旨

本研究は、映画やテレビドラマなどの映像作品における台詞終わりに音楽を付加する際の音楽の最適付加時点を明らかにし、台詞終わりから音楽を付加するあいだに存在する「間」の効果を探ることを試みたものである。

第1章では、映画や連続テレビドラマの制作工程と音楽と映像に関する先行研究、「間」が及ぼす影響に関する研究など過去の知見を概要し、最後に本研究の目的と位置づけ、本論文の構成について述べた。

第2章では、近年の連続テレビドラマにおける音楽と映像の関係を分析するために、2012年夏期放送の一週間に放送された連続テレビドラマを用いて、番組中に音楽の占める割合や音楽と映像の関係と台詞終わりから音楽が付加されるまでの「間」についての分析を行った。その結果、12番組の全体時間に対し、平均の音楽使用率は約63%であることが示された。また、全体の音楽付加箇所に対して約72%が会話の途中もしくは台詞(発話)終わりであることも明らかになった。台詞終わりから音楽が付加するまでの「間」の長さを測定し、直前の台詞を分類したところ、約0.27秒以降の台詞においては、区分ごとに台詞から想像される感情に統一性がみうけられた。

第3章では、発話者の台詞後に発話者の映像が継続する場面で、音楽を付加する際の最適付加時点に関する印象評定実験について述べ、台詞が表す感情と音楽の最適付加時点について考察を行った。その結果、音楽の最適付加時点は台詞直後の時点ではなく、台詞と音楽をつなぐための「間」の必要性と有効性が示された。台詞終わりから音楽が付加されるまでの「間」の長さは「怒り」「愛」「悲しみ」のそれぞれの台詞の表す感情によって異なり、音楽の最適時点に違いがあることが示された。音楽の最適付加時点は、「怒り」の感情を表す台詞では台詞終わりから0.5秒程度、「愛」ではおおむね1.0秒程度、「悲しみ」の感情を表す台詞では1.0秒から1.5秒程度あとの時点であった。また、音楽の最適付加時点および台詞のインパクトの最大点は、台詞の速度や音楽のテンポなどの音響的な特性そのものに依存するのではなく、台詞の感情によって決まることが示された。第2章で区分したように実際の連続テレビドラマにおいても、登場人物の感情に関する場面では台詞終わりから音楽が付加されるまでの「間」を持たせており、印象評定実験により科学的な側面から台詞終わりから音楽を付加するまでの「間」の有効性を実証できた。

第4章では、第3章で明らかにした台詞終わりから音楽を付加する際の最適付加時点と台詞から音楽が付加されるまでの「間」について、より明確にするために、第2章で使用した映像刺激を用いて、映像の印象と調和度の異なる音楽を組み合わせた条件での台詞終わりから音楽を付加する際の印象評定実験について述べ、音楽と映像の調和度が音楽の最適付加時点と台詞から音楽が付加されるまでの「間」に及ぼす影響について考察した。その結果、第3章で実施した実験と同様の結果

が得られた。また、調和度の高い音楽を付加した評定値と調和度が低い音楽を付加した評定値の値は音楽を付加するタイミングのよさとインパクトの強さの両尺度で評定値の値はおおむね同じ位の値であった。以上の結果からも、音楽と映像の調和度は音楽の最適付加時点に大きな影響を及ぼさないことが示された。

第5章では、発話者の台詞後に発話者の映像が継続するのではなく、映像が受け手の表情に切り替わった場面における音楽を付加する際の最適付加時点に関しての印象評定実験について述べ考察を行なった。さらに、映像の切り替わるタイミングや受け手のリアクション表情の影響も検討した。その結果、音楽の最適付加時点においては、おおざっぱであるが、「怒り」の感情を表す台詞では台詞後0.5秒付近、「愛」の感情を表す台詞では1.0秒付近（ただし、刺激によっては1.5秒付近）、「恐れ」の感情を表す台詞では1.0秒付近、「悲しみ」の感情を表す台詞では台詞後1.0秒から1.5秒が最適な音楽の付加時点であり、これまでの実験とほぼ変わらないことが示された。このことから受け手の表情の変化や映像が切り替わる視覚的な影響、および映像の切り替わるタイミングが音楽を付加する最適付加時点と台詞のインパクトに関する大きな影響を及ぼしていないことが示された。

第6章では、結論として本研究を総括し、本研究のなした意義を述べた。本研究で実施した一連の実験により、映画に代表される映像作品における台詞終わりに音楽を付加する際の最適付加時点が示された。現在の映像作品においては、音楽は重要な役割を担っている。特に、登場人物の感情を表した台詞は、物語のストーリー展開において重要な役割を担う。このため、登場人物の感情を表した場面においては、視聴者に物語の展開を分かりやすくするために台詞の表す感情を視聴者に印象づける必要がある。台詞終わりに音楽を付加する最適付加時点を示すことにより、音楽の最適な付加時点は台詞を印象づける効果を持つことを明らかにした。本研究により、映像作品の制作時において、長年の経験がなくとも視聴者に台詞を印象づける音楽を付加する手法を提示できた。